

第3回 学校運営協議会

日時 : 令和4年1月13日(木) 14:35~16:00

参加者 : 萬谷恵三子、佐藤豊、渡邊道子、林巧樹、梶田菜穂子、市川慎二、阿部力、北瀬淳子、岡田隆、広瀬邦彦、長澤利恵子、桐谷鋼哉、渡邊健、佐々木悦郎、五反田淳、菅野光弘、川瀬セツ子

副校長 : 本日はありがとうございます。学校運営協議会を開催させていただきます。まず次第にありますように、総合的な探究の時間を見学していただき、その後、スクールポリシーをご確認いただき、総合も含めてご意見いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

(授業見学)

副校長 : 授業を長時間ご見学いただきまして、ありがとうございました。ではこれより、第3回 学校運営協議会を始めます。本日は、校内記録用としてビデオを取らせさせていただいてよろしいでしょうか。(承認) ありがとうございます。では、会長よりご挨拶をお願いします。

渡邊 : 皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

副校長 : ありがとうございます。では、今回ご参加いただきました、萬谷様よりご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

萬谷 : 前は突然お休みしてすみません。本校生徒も旭高校さんには、たくさんお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。

副校長 : ありがとうございます。林様からもご挨拶をお願いいたします。

林 : 産業能率大学 入試企画部長の林です。総合的な探究の時間など、探究学習について調査を長年しておりまして、高校等も参観してきました。本日は、授業参観もあるということで、参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

副校長 : ありがとうございます。では、校長よりご挨拶いたします。

校長 : 探究の授業を見ていただきありがとうございます。近況をご報告させていただきます。2学期後半は、おかげさまで学校行事、特に本校は体育的行事が多いですが、やりくりしながら実施することができました。

(写真)

駅伝大会です。任意参加ですが、走っている子は部活生、応援している子は一般生徒も多かったです。すごく盛り上がっていました。

文化祭です。時間短縮し、後夜祭は中止しましたが、でも生徒が主体的に企画実施しました。

(動画)

中庭パフォーマンスは名物なんです。球技大会です。予定通り3学年同時に実施できました。元気ですね。決勝戦のサッカーです。ちょっと密になってしまいました、コントロールしたんですが。それから、終業式に旭アワードの表彰をさせていただきました。あと、12月の学校説明会には、560名参加していただきました。イングリッシュキャンプには、9名参加し、ブリティッシュヒルズで、実施できました。この経験を姉妹校交流や、各自の将来につなげてくれたらいいなと思います。

副校長： それでは、授業を見ていただいた感想をお願いしたいと思います。座席表に従って、順番によろしいでしょうか。

梶田： 高校生の授業参観を初めてしました。自分の時は将来を考えることがなかったですが、みんな自分で調べてきていてすごいなと思いました。ただ、調べることに一生懸命で、発表の仕方はもう少しかなと思いました。声の大きさや内容などの面で。最後の子は発表の仕方も変わっていたので、みんなよく聞いていたなと思います。発表の仕方ですごく違うのだなと感じ、おもしろい授業でした。

北瀬： コンピュータを駆使しているんですね。

Google Formなど、高校から使っていたら処理能力や苦手意識が変わりそうですね。自分の高校時代もやりたいことを目指して専門学校に進みましたが、それは自分で行っていたので、授業でとりあげて、将来のやりたいことをやっていくのはすばらしいと感じました。パワーポイントが特に印象的でした。

萬谷： 高校は一人一台、購入してもらおうというお知らせがきましたね。中学校では既に1台ずつ持っているので、委員会活動においても一人ひとりから提案したりしていますので、高校の方が大変なのかな、1年遅いのかなと感じました。

発表は、ある程度型があってそれに乗ってやっているのかなと思いましたが、単調になってしまっていました。まあ1年生だからいいのかなと思います。後ろから2番めの生徒さん、警察官の発表でしたが、内容はしっかりしていなかったけれど、旭高校の教育方針にのっとって、質問しながらコミュニケーションとりながら、ああいった形はいいなと思いました。視点をとらえて、今後の成長の姿がみられたなと思います。1年生なので、みんなが滞りなく発表できることはいいことかなと思います。プレゼンに関しては、字の大きさもよかったかなと思います。また、発表は終わるごとに、一人ひとりがパソコンを消毒していて、感染への対策への意識が高いように見受けられました。ありがとうございました。

阿部： 10年前まで高校で教員をやっていたので、10年で随分変わったなとびっくりしました。最終的にSDGsにつなげていくけど、職業や貢献することを調べてまとめただけになっている部分があるので、内容に深まりがでてくるともっと活発になるか

なと思いました。あと、コミュニケーションが必要と感じました。発表、評価の繰り返しになっているので、もうちょっと深みがあるとよかったなと思います。寝ている子はいなくて、静かに聞いている子が多かったですね。旭高校の授業を受ける姿勢なのでしょうね。最後の評価をスマホでというのは、進んでいますね、驚きました。

佐藤 : 探究は普段の学習とどうちがうのが、テーマになると思います。3年間を見据えて、1年生は自分の課題を見つけることがターゲット、3年生は自分自身を考えるというフリーな感じでやられたらいいのかなと思います。

小中学校は1人1台の効果で、活用能力が格段にあがっています。来年度はすぐ使える生徒が入ってくることになるので、使い方の中身なども考えていく必要がありますね。今後、探究力の深さを高めていくためには、職業も含めた進路選択と現代的な課題をかませているところで、どっちが軸になるのかを明確にしていかれた方がいいかなと思います。生徒がぶれてしまいますので。あとは、しつらいが大事です。アクティブラーニングや授業の設計が課題ですね。発表時間が2分は難しいかなと思います。例えば、タブレットを4箇所設定してそれぞれ聞いておいでみたいなスタイルもいいのかなと思います。40人対1でなくて、椅子もとっぱらっちゃっていいかもしれませんね。

授業だからまじめにという、ロックがかかっているように見えます。しっかりアイズブレイクしてあげて、アピール力をテーマに、もっとやっていいよという雰囲気は大切ではないでしょうか。課題解決力は、気づく、行動、解決する、このスパイラルを構築していくためには、そういうやり方もいいのではないかと思います。

渡邊 : 2分という枠がある中ですが、自分が興味あること以外も興味を持つきっかけがあったかなと思います。また、他教科の知識を活用している姿がぼつぼつ見られたことはとてもいい流れですね。今日のことを通じて、原稿見ないでやる「ああいうやり方がいいな」などと他の生徒のよい部分に気づいていけるといいなと思います。

林 : ICTについて、神奈川県は遅れています。スマホを使ってギャップを埋めているのは、来年は変わっていくので、慣らしになっているし、先生が前向きに取り組まれているなと思います。

私は、聞いている子の姿勢も見ているのですが、発表者の発表を受け止めて共感しながら聞いている子が多かったし、寝そうになっている子もいたけど、あきらめていなかったことがよかったなと思います。

臨床心理士について発表したことは、保健で聞いたことがあるけど、それ以上は自分で調べていくことなのだなと考えることが、探求だと他の生徒も気づいてくれたんではないかなと思います。発表している生徒も一生懸命ですが、聞いている生徒の様子をもう少しみてほしかったかなと思います。進路のこととSDGsを結びつける必要があったかなと思います。SDGsを知ることは大事ですが、それは職業とは枠組みがあわないかなと思いました。

市川 : 楽しかったです。このテーマは、幼稚園でも行っていて、難しいですね。時間

的な問題やコロナの問題があったと思いますが、簡単に言うと、対話的な部分も入れてあげると、もっと学べるし、興味関心を引き出せるのかなと思います。

探求は、アウトオブスクールな感じですね。学校の授業は正解を求めていくことがほとんどですが、わからないものを調べてみたら、もっとわからなくなったという正解と真逆な部分があり、失敗を保証する必要がありますよね。旭高校の教育観を感じました。

岡田 : 私の角度から見ると、学ぶ環境、デジタル化がすごいな、中学生はもっと進んでいると聞きますと、本当にすごいなと思います。中小企業経営者としては、こういう生徒が数年後、社会に出て自分を表現してくるのだなと思うと、企業でもTEAM SやGoogleを使うようにはなりましたが、まだまだだなと思いました。零細企業は、若者が教えてもらうことが多いのですが、もっと進んでいると思うと、驚きますね。

今の学校はこういうカリキュラムでやっていることをもっと世の中に伝えるべきだと思いますし、私の立場としては、周りの方に「今の学校ではこういうことをやっているよ」と伝えていきたいと思います。

副校長 : ありがとうございます。教育活動活性部会で引き続きよろしく願いいたします。スクールポリシーですが、「グローバル」「地域の活性化」をいれさせていただきましたが、よろしいでしょうか。(了承)

では、長時間に渡って、ありがとうございます。10分休憩させていただきます。